

2016 年度活動報告 CJP 授業：聴解 A

西村 由美（関西学院大学日本語教育センター）

1. クラス概要

上級レベルの学習者を対象とした、週1コマ全14回のクラスである。目標は、1) 様々な専門分野の講義の内容が大まかに理解できるようになること、2) 聞いた内容について説明し、話し合いができるようになること、である。授業終了後には、学部の授業を受講することも想定し、①わかりやすい映像付きの動画¹⁾、②PPT 資料付きの講義音声²⁾、③教員の板書を見ながら聞く動画³⁾、と段階をふんで、最後は当校の学部の講義を収録した動画を視聴した。また、①の動画については、教員が2回モデル発表を行った後に、学生が好きなタイトルを選んで内容を説明し、そのテーマについて話し合いを行った。

2. 授業内容

教材①は以下の順で行った。1) メモを取りながら聞く、2) そのメモを見てどのような内容だったかを話し合う、3) 再度映像を見ながら、表現の確認をし、教員が内容理解のためのポイントを説明する。教材②と③については、事前に学生を A と B の2つのグループに分け、各自が指定された部分をメモを取りながら聞くことを宿題とした。そして、授業では A と B がペアになり、お互いが聞いてきた内容を説明した後に、クラス全体で両方の映像を視聴し、内容を確認した。事前に聞くことを宿題とすることで、聴解に自信のない学生は何度も聞き説明の準備をすることができ、それぞれの力に応じた課題となると考えた。教材③は、学部の90分の講義であるため、3回に分けて視聴した。講義の中で使われている教科書の一部を予習として読むことを宿題とした。授業では教材①と同じ進め方で視聴し、内容理解を確認するクイズを行った。

3. 成果と今後の課題

オンラインで公開されている動画や、日本語の教材は音声アナウンサーのように明瞭で聞き取りやすいものが多いが、実際の講義の音声は非常に豊かで幅があり、難しかったようである。しかし、当校の講義の視聴は特に好評であったため、実際の講義の理解につながるよう、聞き取りのポイントを押さえた練習方法をさらに考えたい。

1) NHK for school：学校向け教材動画アーカイブ <http://www.nhk.or.jp/school/>

2) 東京外国語大学留学生日本語教育センター 編著 (2015) 『留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解 上級』スリーエーネットワーク

3) 中澤 務編 (2007) 『知のナビゲーター』くろしお出版